

## インクルーシブってどういう意味？

インクルーシブとは、英語の「inclusive」が由来となっています。「包括的な」「すべてを含む」といった意味です。現在、障がいの有無や性別、国籍、年齢など、多様な背景や特性を持つ人々を分け隔てなく受け入れる意味で使われています。それぞれの特性を尊重しながら共生する社会の実現を目指すための指針として使用されています。すごくカンタンに言うならば、「**ちがいのある人が最初から一緒にいられるようにすること**」です。

## この冊子の見かた、使い方

この冊子では、**障がい当事者などへのインタビュー**を通して見えてきたインクルーシブな考え方や当事者の声、その周りの人々の声についてご紹介します。そしてそれはあなたが企画する「イベント（※）」により**多様な人が来るヒント**になるかもしれません。

（※この冊子でのイベントとは、主にワークショップや体験教室、講座などの市民活動を指します。）

### 1 イベントづくりのヒント「企画準備編」「当日対応編」

イベントを企画・運営する上で、障がいの有無に限らず大切にしてほしいマインドや押さえておきたいポイントがあります。イベントを行うまでの企画や準備の段階と、実際のイベント運営の段階に分けてヒントをご紹介します。

### 2 当事者の目線「実は〇〇なのです…」

今回の当事者の方へのインタビューを通して、イベント運営などに関係なく、今まで気付かなかった日常の困りごとや視点、お助けツールをまとめてみました。視覚、聴覚、身体、外国人の方それぞれ「できること」・「できないこと」があります。当事者の日常を知り、相手の立場に立ってみて考えてみることのヒントになるかもしれません。

### 3 当事者と距離が近い方の「実は〇〇なのです…」

今回のインタビューで、イベントに参加する側の障がい当事者だけではなく、障がいを持ちながらイベントを主催する方、障がい当事者の支援者の方にもお話を伺いました。障がい当事者と距離が近い方の考え方は大事なヒントのひとつです！